

2017年10月号

10月15日(日)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

月刊 温根内通信 No. 253



短い湿原の秋…

赤く色づくモミジ。黄金色に輝くゼンマイ。冬へ向かう途中のほんの数日間、湿原は秋の顔をのぞかせます。

雨上がりの朝、少しひんやりして静かな木道を歩くと、夜露に濡れた無数のクモの巣があらわになっていました。その造形もさることながら、冬支度に入った虫たちの熾烈な世界を垣間見た気分でした。

☆☆☆温根内ビジターセンター 探勝木道周辺の自然情報☆☆☆



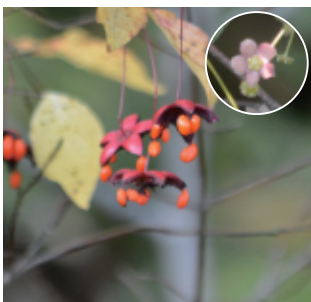
～温根内探勝木道周辺の自然～



【ヒメカイウ (実)】
サトイモ科 姫海芋
湿原に浮かんでいて、とても美味しそうですが毒があり、動物たちも手をつけません。この後は色あせてやがて沈んでいくようです。



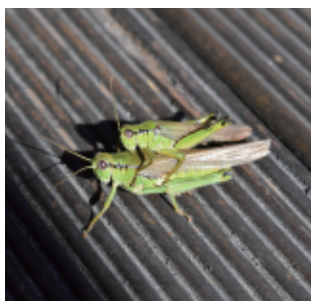
【マムシグサ (実)】
サトイモ科 蝮草
褐色の鶴居軌道で、とても目立ちます。本種は雌雄異株で、雌株として生長したものだけが実をつけます。こちらにも毒があります。



【ツリバナ (実)】
ニシキギ科 吊花
鶴居軌道沿いにあるニシキギ科の樹木のひとつ。5稜の仮種皮が真下に向かってパカッと開き、中から朱色の種子がのぞきます。



【マユミ (実)】
ニシキギ科 真弓
こちらもニシキギ科。マユミの仮種皮は桃色で稜が4つです。ニシキギ科の木本の花は総じて地味ですが、実はとても目を引きま



【ハネナガフキバッタ】
バッタ科
テラスの周りをピョンピョンと飛び跳ねています。その名の通りフキを食草にするバッタの仲間、今が繁殖の時期のようです。



【ルリボシヤンマ】
ヤンマ科 瑠璃星蜻
今年は全般的に昆虫類が旺盛に出現したように感じます。このトンボもそうで9、10月は見かけない日はないほど飛んでいました。

～温根内探勝木道周辺の野鳥～

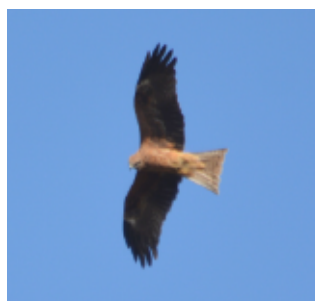
温根内は秋から冬へと向かい、夏鳥たちは次々と南へ旅立っていきました。それと交代するように、山から下ってきたと思われるマヒワやカケスの声も聞かれるようになりました。冬を告げるオオハクチョウの飛び姿もまもなく見られることでしょう。ビジターセンターでは、双眼鏡を無料で貸出しております。



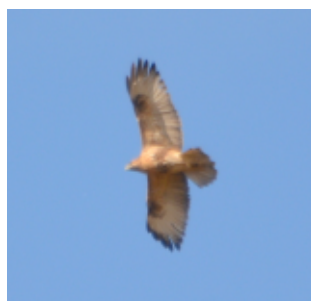
【ウグイス】 夏鳥
ウグイス科 鶯
春の美しい囀りとはほど遠い、「ジャッ、ジャッ」と、濁った声を出して茂みの中を移動します。この声が聞こえるのも、あと少しです。



【ゴジュウカラ】 留鳥
ゴジュウカラ科 五十雀
鶴居軌道の森などで元気よく飛び回っています。冬に備えて他のカラ類などと同様に行動をともにしますが、中でも好奇心が強い種です。



【トビ】 留鳥
タカ科 鷹
最も身近なタカ科の野鳥です。翼は黒っぽく見え、尾の形が「ばち型」をしています。主に動物の死肉や魚類などを捕食します。



【ノスリ】 留鳥
タカ科 鷹
こちらは翼や胴体が白っぽいのが特徴です。尾の形が丸くなるのもトビと見分けるポイントです。主にネズミなどを捕食します。

○温根内探勝木道周辺で観察された花（9月15日～10月14日）※和名は五十音順

■アキノウナギツカミ■アメリカセンダングサ■イチゲフウロ■イヌタデ■イヌトウバナ■ウツボグサ■ウメバチソウ■エゾオオヤマハコベ■エゾゴマナ■エゾタチカタバミ■エゾトリカブト■エソノコギリソウ■エゾヤマアザミ■エゾリンドウ■オオバコ■オオバセンキュウ■キツネノボタン■キツリフネ■キンミズヒキ■クサフジ■クルマバナ■コウゾリナ■コガネギク■コハコベ■サラシナショウマ■サワギキョウ■シオガマギク■セイヨウタンポポ■セリ■タニソバ■チドリケマン■ツリガネニンジン■ツリフネソウ■トウヌマゼリ■ナガボノシロワレモコウ■ナギナタ■コウジュ■ハナタデ■ハンゴンソウ■ヒメジョオン■ヒヨドリバナ■ホザキシモツケ■ホソバアカバナ■ホソバノヨツバムグラ■ミゾソバ■ミチヤナギ■ミツバフウロ■ミツバパンケイソウ■ミツモトソウ■ムラサキツメクサ■メマツヨイグサ■ヤナギタンポポ■ヤブジラミ■ヤマハハコ■ヨシ■ヨブスマソウ

※次号から花の情報はお休みとなります。

○温根内探勝木道周辺で観察された鳥（9月15日～10月14日）※和名は日本鳥類目録第7版の順

■ヒシクイ■マガン■キジバト■アオサギ■タンチョウ■クイナ■トビ■オジロワシ■ノスリ■コゲラ■アカゲラ■ハヤブサ■モズ■カケス■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ハシブトガラ■ヒガラ■シジュウカラ■ヒバリ■ヒヨドリ■ウグイス■エナガ■コヨシキリ■ゴジュウカラ■キバシリ■ノビタキ■キセキレイ■ハクセキレイ■カワラヒワ■マヒワ■ベニマシコ■アオジ■オオジュリン

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いします。

☆☆☆☆ トピック 高層湿原・低層湿原って何・・・？ ☆☆☆☆

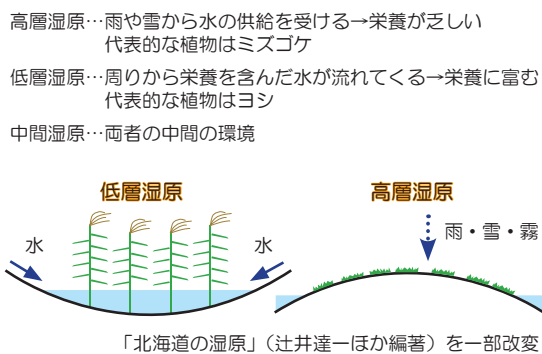
湿原はその植生や地形によって、さまざまな分類の仕方があります。昔から使用されてきた代表的なものとして、「高層」「低層」「中間」湿原に分ける方法があります。よくこの高層・低層という言葉で標高の高低と誤解されることもあるので、今回はこの分類法について少し触れたいと思います。

そもそも湿原とは、周期的あるいは継続的に水没するか、または過湿な条件下にある平坦地を指します。水面が見えているところの下では、「泥炭」と呼ばれる植物由来の地層が堆積しています。高層湿原・低層湿原という名称は、この泥炭がつくる水文地形に基づい



ていて、高層・低層とは泥炭表面と水面との位置関係を示しています。堆積した泥炭が水面よりも低く、**周囲から栄養を含んだ水が供給されている湿原を低層湿原と呼んでいます**。ここでは比較的栄養に富んでいるため、ヨシやガマなどの大型の植物が育ちます。一方、泥炭層が水面よりも高く、**主に雨や雪、霧などによって植生が維持（涵養）されている湿原を高層湿原と呼びます**。高層湿原は栄養に乏しいため、ミズゴケや背丈の低い樹木（矮小低木）などの植生が生育します。例外もありますが、湿原は多くの場合、低層湿原の状態から徐々に泥炭を堆積していくことでやがて水面より泥炭層が高くなり、低層湿原→中間湿原→高層湿原と推移していくと考えられています。

標高の高い山岳地に高層湿原が形成される場合もありますが、釧路湿原のように標高が0m 近いところでも高層湿原は多く見られます。したがって、高層・低層という言葉は、標高の高い・低いとは関係しません。しかしながら、これらの分類法は誤解を生じやすい言葉ではあるので、当ビジターセンター館内の展示ではこれらの使用は極力避け、生育する植生に基づいた、「ヨシ・スゲ湿原」「ミズゴケ湿原」（＝それぞれ、低層・高層湿原とほぼ同義）といった、感覚的にわかりやすい言葉を用いています。そして、温根内木道はこの低層・高層湿原いずれの湿原も観察できます。ぜひ、その違いを肌で感じ取ってみてください！（藤原伸也）



☆☆☆☆ 11 月から開館時間とトイレ使用時間が変わります！ ☆☆☆☆

11 月から翌年 3 月までの冬季期間は、ビジターセンターの開館時間が下記のように変更となります。

開館時間：（4 月～ 10 月）9:00～17:00 → **（11 月～ 3 月）9:00～16:00**

これに伴い、トイレについても、10 月までは 24 時間使用可能でしたが、**11 月から 3 月の期間は各日 16:00 の閉館をもって翌朝 9:00 の開館までご使用できなくなります**のでご注意ください。また、同期間中は**休館日の火曜日も終日トイレはご使用になれません**。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

☆☆☆☆☆ イベントのご案内（11 月） ☆☆☆☆☆

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込み ☎ 0154-65-2323

♪地形を見て歩く！ 湿原探索

〔日時〕 11 月 19 日（日）10:00～12:00 〔定員〕 15 名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕 無料

〔場所〕 温根内ビジターセンター

植物の花や葉が枯れ落ち、遠くまで見渡せるこの時期。普段は注目しない、湿原周辺の「地形」にスポットを当てて木道を歩きます。

♪クリスマスリースを作ろう

〔日時〕 11 月 26 日（日）13:00～15:00 〔定員〕 15 名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕 500 円（材料費）

〔場所〕 温根内ビジターセンター

もうすぐクリスマス。自然の素材を使って、オリジナルクリスマスリースを作成しましょう。

○塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）⇒お申し込み ☎ 015-487-3003

♪ムックリ（口琴）を作ろう

〔日時〕 11 月 4 日（土）13:00～15:00 〔定員〕 15 名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕 300 円（材料費）

〔集合場所〕 塘路湖エコミュージアムセンター

～タンチョウイラスト展開催中～

館内では 10/29（日）まで、道東の小・中学生の皆さんが描いたタンチョウのイラストを展示しております。子供たちの力作をぜひご覧ください。



主催：（公財）日本野鳥の会

月刊 温根内通信 No. 253

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel：0154-65-2323 Fax：0154-65-2185

E-mail：ovc@hokkai.or.jp

ホームページ：http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/

Facebook：温根内ビジターセンター フェイスブック

開館時間：9:00～17:00（11 月～ 3 月は 16:00 まで）

休館日：毎週火曜日（12/29～1/3 は休館）入館無料